

篠山紀信写真展 KISHIN meets ART



2016. 9.17 sat. — 2017. 4.5 wed.

会場: 彫刻の森美術館 本館ギャラリー／緑陰ギャラリー

2016年9月17日より、展覧会「篠山紀信写真展 KISHIN meets ART」を開催致します。

1950年代後半から今日まで、第一線を走り続ける写真家、篠山紀信。ヌードや都市風景、スターたちのポートレートなど、次々と発表される写真は時に物議を醸し、彼の用いた「激写」は流行語にもなりました。驚異的なスピードとエネルギーで、テーマやジャンルだけでなく手法をも多彩に変化させながら、鋭い嗅覚で“いま”を撮り続けてきました。

その篠山が選んだ本展覧会のテーマは、ずばり、「アート」。新たに撮り下ろした当館コレクションのヘンリー・ムーアやカール・ミレス、ジュリアーノ・ヴァンジなど、野外彫刻の迫力ある写真が見る者に迫ってきます。篠山が正面から彫刻に挑んだ、まさに新境地の作品です。また、複数台のカメラを結合して撮影する篠山独特の手法「シノラマ」で撮影された写真を中心に、バルテュスや岡本太郎、草間彌生、森村泰昌など、これまで交流を重ねたアーティストやその仕事場の写真をダイナミックなスケールで展示します。これまであまり公開されることのなかった、篠山とアートの出会いを切り取った瞬間＝“KISHIN meets ART”をお楽しみいただける内容となっております。

つきましては、「篠山紀信写真展 KISHIN meets ART」を貴媒体上で是非ご紹介いただきたく、周知・告知活動にご協力賜りますようお願い申し上げます。

■ 展覧会情報

【展覧会名】	篠山紀信写真展 KISHIN meets ART
【会 期】	2016年9月17日（土）～ 2017年4月5日（水）
【会 場】	彫刻の森美術館 本館ギャラリー / 緑陰ギャラリー (〒250-0493 神奈川県足柄下郡箱根町二ノ平1121)
【開館時間】	9:00～17:00（入館は閉館の30分前まで）
【休 館 日】	なし（年中無休）
【入 館 料】	大人1,600円 / 大・高校生1,200円 / 中・小学生800円
【交通手段】	箱根登山鉄道「彫刻の森」駅下車、徒歩2分
【主 催】	彫刻の森美術館（公益財団法人 彫刻の森芸術文化財団）
【後 援】	箱根町 / 箱根町教育委員会 / フジサンケイグループ
【特別協賛】	メルセデス・ベンツ日本株式会社
【協 賛】	東京リスマチック株式会社 / サンケイ総合印刷株式会社 / 日本アグファ・ゲバルト株式会社
【協 力】	株式会社篠山紀信 / 株式会社立川事務所
【会場デザイン】	岸健太（株式会社岸・林設計同人） / 株式会社スタジオ ギブ
【プロデュース】	立川直樹
【出品点数】	本館ギャラリー 54点 / 緑陰ギャラリー 30点 計84点

■ 開催イベント ※詳細は決定後、当館HP等にてお知らせいたします。

【アーティスト・トーク】

日時：2016年9月17日（土） 13:30～

場所：彫刻の森美術館



篠山紀信 Kishin Shinoyama

1940年東京生まれ。日本大学芸術学部写真学科卒業。在学中に広告制作会社ライトパブリシティに入社、68年フリーとなる。66年日本写真批評家協会新人賞。73年『女形・玉三郎展』で芸術選奨文部大臣新人賞。76年ヴェネチア・ビエンナーレ日本館で個展「家」を開催。79年『135人の女ともだち』で毎日芸術賞など次々に多くの賞を受賞し、その活動は常に社会的な話題を提供し続けてきた。人物写真では三島由紀夫、山口百恵、宮沢りえ、ジョン・レノンとオノ・ヨーコなど、時代を代表する人物を撮り、「激写」や「シノラマ」など新しい表現方法と技術で、時代を切りとっている。また、バルテュスやイサム・ノグチ、横尾忠則など数々の現代芸術家のポートレートも手がける。近年はデジタルカメラで撮影した写真と映像の新しい表現「digi+KISHIN」を展開。2012年より熊本市現代美術館をはじめ、日本全国的美術館にて『篠山紀信展 写真力 THE PEOPLE by KISHIN』が巡回している。

■本展覧会の主旨とみどころ

○ 篠山紀信が撮り下ろす、初めてのオープン・エア ミュージアム

彫刻の森美術館に展示されている彫刻作品。ヘンリー・ムーアをはじめ、エミール＝アントワヌ・ブールデル、カール・ミレス、ジュリアーノ・ヴァンジなどの当館を代表する野外彫刻の数々が、四季折々の箱根の大自然と調和しながら展示されています。

篠山の視点で撮り下ろした写真の数々は、思いがけない発見を観るものに提示し、新しい発見を促すことでしょう。篠山の写真が織りなす彫刻たちの物語を堪能してください。

○ ヘンリー・ムーア コレクションと篠山の出会い

「…ひとたび野外に出て陽を浴び、雨に打たれ、雲の移り行きを感じるときは、彫刻も生活の一部であるということがよくわかる…」

当館の国際公募展「ヘンリー・ムーア大賞展」創設時（1979年）にムーアから寄せられたメッセージです。このムーアの言葉は、そのまま当館の指針にもなってきました。

今回、篠山はヘンリー・ムーアの作品群と向かい合いました。ムーアのメッセージは、篠山を通してどのように解釈されたのかを、本展で余すことなく紹介します。

○ アーティストたちへのオマージュ、シノラマの大迫力

篠山は様々はアーティストの仕事を訪問しています。本展では、篠山と交流のあったアーティストから選りすぐった28名を展示空間に合わせてダイナミックな大画面で紹介します。

特に見ごたえがあるのが「シノラマ」による写真となります。「シノラマ」とは、「シノヤマ」と「パノラマ」を結合した篠山によるジョイント写真の技法で、多くは3台、場合によっては9台といったカメラを、カメラ・スタンドで結合して一斉にシャッターを切ることで、高精度かつ複眼的な写真表現を生み出します。さらに視点を複眼化することで、自然な写真描写とは違った写真の虚構性を強調した世界が広がります。

草間彌生、バルテュス、オノ・ヨーコ、横尾忠則、イサム・ノグチ、森村泰昌など美術史を彩るアーティストたちの世界が繰り広げられます。

○ 室内展示場2会場を使用した、大規模写真展

本展は「本館ギャラリー」と「緑陰ギャラリー」の2会場を使用して篠山の写真世界を紹介します。「本館ギャラリー」では、ヘンリー・ムーアをはじめとした野外彫刻作品を3つの展示室を使って展示します。もう一つの会場となる「緑陰ギャラリー」は当館で一番広い展示スペースとなり、アーティストたちへのオマージュ作品が並びます。

つまり、「篠山紀信写真展 KISHIN meets ART」とは、2つの異なるテーマの展覧会を一度に楽しめる内容となっています。篠山の多彩な仕事を紹介するにふさわしい、新しい切り口の展覧会です。

○ 共通するテーマは「アート」

今回、篠山ははじめて野外彫刻の撮影にチャレンジしました。まさに彫刻というアートに挑んだのです。また、過去に撮影した様々なアーティストとの関わりも、篠山とアートとの出会いが共通のテーマでした。篠山という希有な写真家を通して見た世界と、当館を訪れた一人一人が感じる世界、そのいずれにもアートがあります。

KISHIN meets ARTとは、篠山とアートとの出会いであり、さらに私たちのアートとの出会いでもあります。

○ 展覧会だけでない。彫刻の森美術館も鑑賞できる

展示室ごとに料金をいただくことなく、入館料で特別展を含めた全ての施設をご見学いただけます。約120点の野外彫刻作品をはじめ、ピカソコレクションを順次公開するピカソ館など、一日ゆっくり過ごすことができます。

東京からのアクセスもよく、箱根までの移動を楽しみながら、篠山紀信の世界を鑑賞できる、またとない機会を提供します。

■会場構成

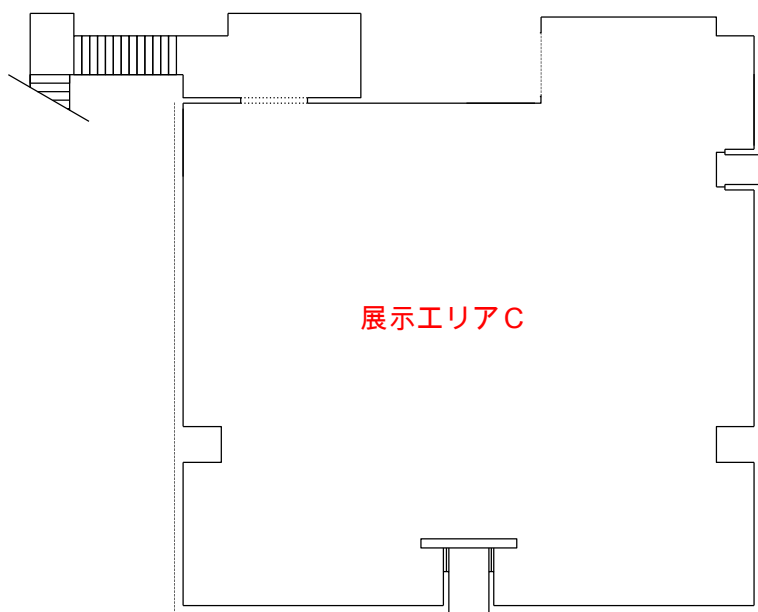
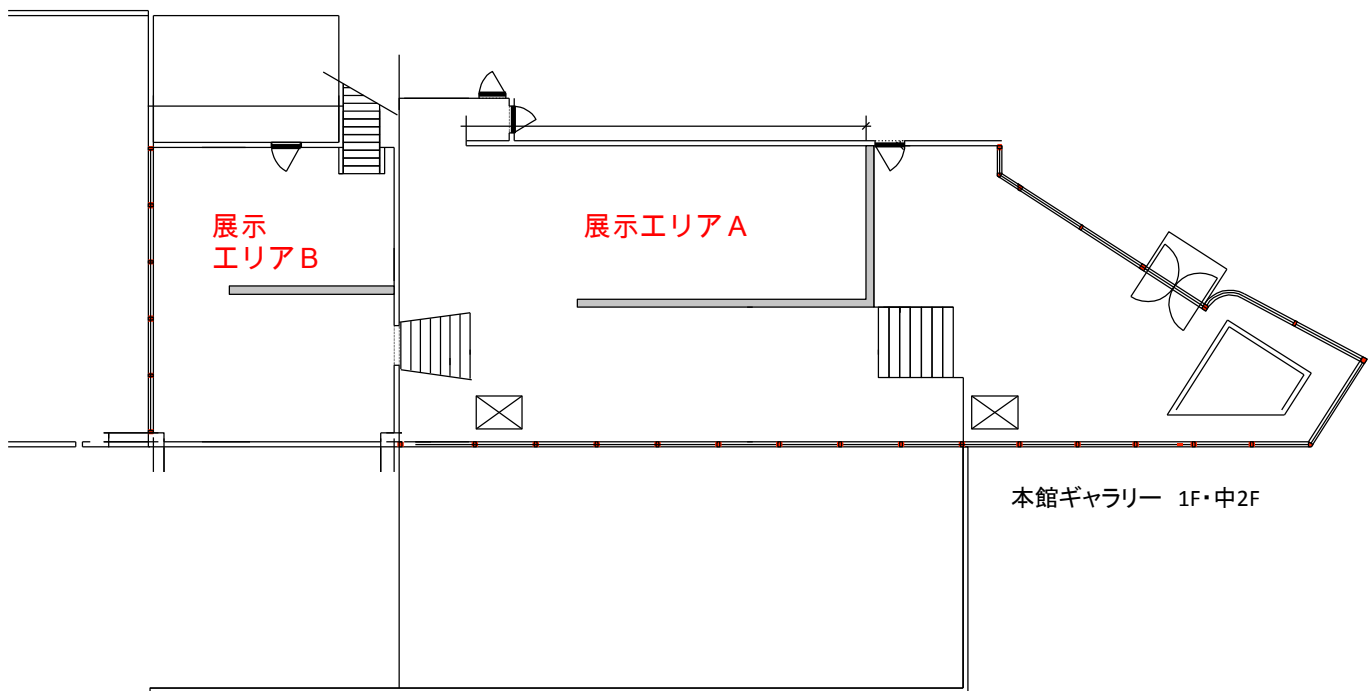
展示場1： 本館ギャラリー（展示点数54点）

展示エリアA・C【KISHIN meets Sculptures】

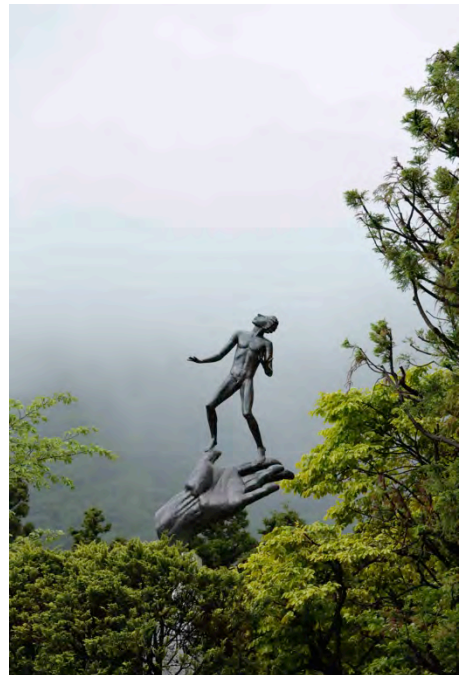
・彫刻の森美術館で撮り下ろした野外彫刻写真を展示します。

展示エリアB【KISHIN meets MOORE】

・篠山とヘンリー・ムーア作品との対峙を写真を通して体感していただきます。

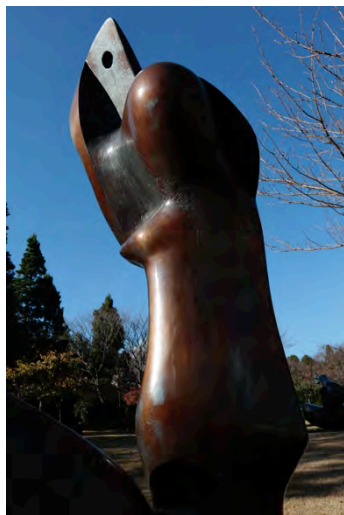
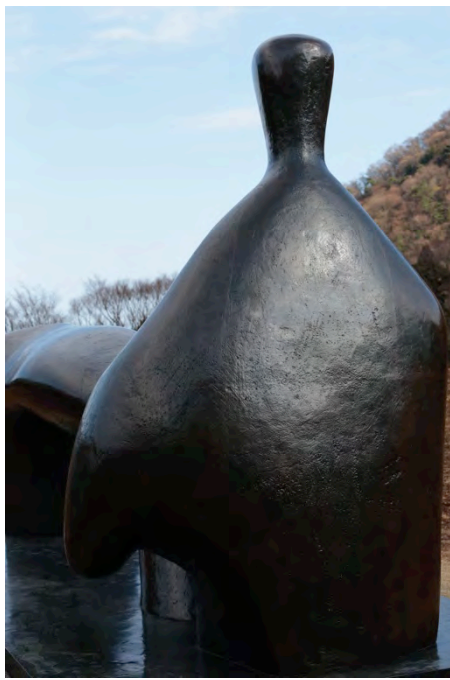
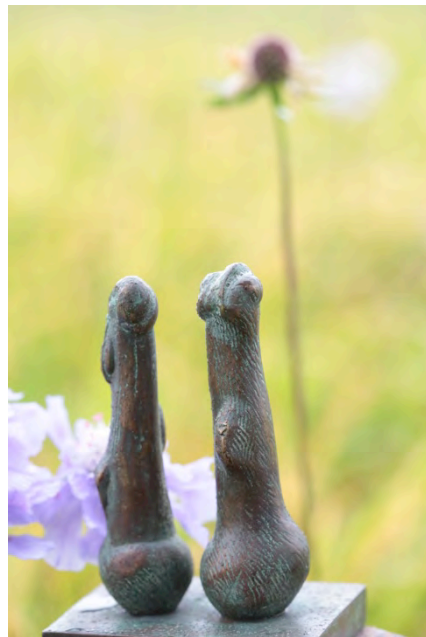


本館ギャラリー展示作品 展示エリアA・C 【KISHIN meets Sculptures】



上 ジュリアーノ・ヴァンジ《偉大なる物語》2015年
 中(左より) 佐藤忠良《若い女》2015年
 アルナルド・ボモドーロ《球体をもった球体》2015年
 マッチンスキー・デニングホフ《シュトルム》2015年
 下(左より) エミール=アントワヌ・ブールデル《弓を引くヘラクレス》2015年
 カール・ミレス《神の手》2015年

本館ギャラリー展示作品 展示エリアB 【KISHIN meets MOORE】

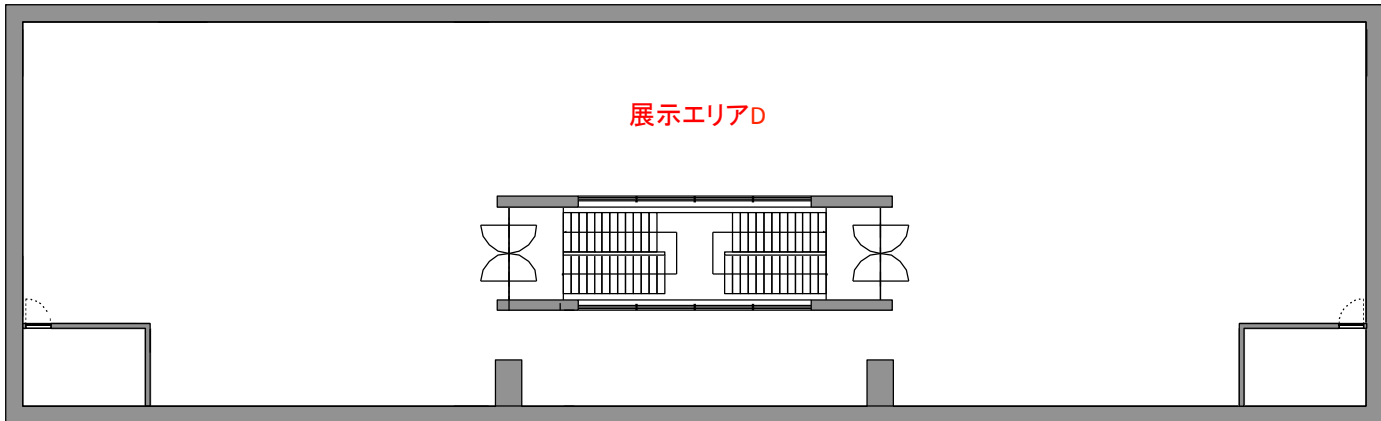


ヘンリー・ムーア作品
 上(左より)《ファミリー・グループ》《横たわる像》2015年
 中(左より)《横たわる像: アングル》《ふたつの球根のかたち》2015年
 下(左より)《ふたつに分けられた横たわる像: アーチ状の足》2015年
 《ふたつに分けられた横たわる像: カット》2015年

展示場2： 緑陰ギャラリー （展示点数30点）

展示エリアD【 KISHIN meets Artists 】

・篠山は交流を重ねたアーティストやその仕事場を撮影してきました。この会場には、オノ・ヨーコや草間彌生、横尾忠則やバルテュスなど28作家30点の写真を公開します。

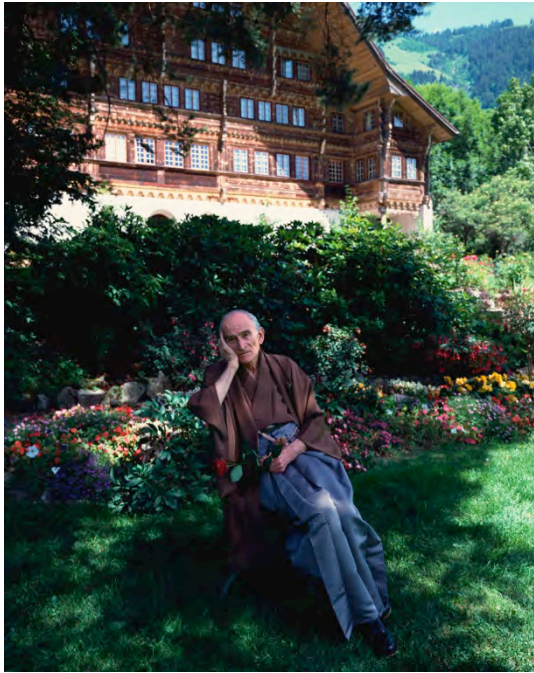


■展示場マップ

今回、彫刻の森美術館の「本館ギャラリー」と「緑陰ギャラリー」の2会場を使用します。
本館ギャラリーには彫刻の森美術館の野外彫刻、緑陰ギャラリーには国内外のアーティストの写真を展示します。



緑陰ギャラリー展示作品 【KISHIN meets Artists】



上(左より) バルテウス 1992年、草間彌生 2004年
中(左より) 森村泰昌 1990年
下(左より) 岡本太郎 1993年、Chim↑Pom エリイ 2012年